



2024年6月期第3四半期
決算補足資料
2024年5月15日

DNホールディングス株式会社
(東京証券取引所スタンダード市場 7377)

第3四半期決算 業績ハイライト

はじめに

当社は、2021年7月14日付で共同株式移転の方法により、大日本コンサルタント株式会社及び株式会社ダイヤコンサルタントの共同持株会社として発足いたしました。今期は設立第3期目となります。

ポイント

- 上半期における建設コンサルタント事業の売上高減少に加え、能登半島地震による復旧・復興支援に伴い一部業務の一時中断や工期延長が発生したことなどが影響し、売上高は前年同期比で減少となりました。
- 売上高減少による売上総利益の減少に加え、積極的な人的投資等が影響し、営業利益等は減益となりました。

(単位：百万円)

区分	2023年6月期	2024年6月期	前年同期比		通期業績予想	
	第3四半期(実績)	第3四半期(実績)	増減	比率	計画	進捗率
売上高	24,670	24,176	△494	98.0%	34,500	70.1%
営業利益	1,892	520	△1,371	27.5%	2,400	21.7%
経常利益	1,944	543	△1,401	28.0%	2,450	22.2%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	1,404	535	△869	38.1%	1,700	31.5%
1株当たり当期（四半期）純利益	175円06銭	66円33銭	△108円73銭	37.9%	211.27円	31.4%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

第3四半期決算 受注・売上状況（事業別）

ポイント

- 建設コンサルタント事業及び地質調査事業ともに受注は前年同期を上回り、堅調に推移しています。

受注・売上状況

（単位：百万円）

事業区分	受注高				売上高			
	2023年6月期 第3四半期 実績	2024年6月期 第3四半期 実績	前期比 増減	前期比 比率	2023年6月期 第3四半期 実績	2024年6月期 第3四半期 実績	前期比 増減	前期比 比率
建設コンサルタント事業	17,912	22,162	4,249	123.7%	21,351	20,293	△1,058	95.0%
地質調査事業	2,451	3,798	1,347	155.0%	3,319	3,883	563	117.0%
合計	20,363	25,960	5,597	127.5%	24,670	24,176	△494	98.0%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

事業内容

事業区分	主要業務	主要な会社名
建設コンサルタント事業	社会資本整備に関するコンサルタント業務のうち、調査・計画・設計・工事監理など	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd. NEテクノ株式会社
地質調査事業	地質・地盤・地下水・資源の調査・解析	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 有限会社エーシーイー試錐工業

第3四半期決算 受注・売上状況（顧客別）

ポイント

- ▶ 受注高（顧客別）は、地方自治体の受注が前年同期より減少していますが、中央省庁、高速道路会社、電力関連会社及び民間その他の受注が前年同期より増加し、国内事業全体としては順調に推移しています。

受注・売上状況

（単位：百万円）

事業区分	受注高			
	2023年6月期 第3四半期 実績	2024年6月期 第3四半期 実績	前期比 増減	前期比 比率
国内事業	20,022	25,762	5,740	128.7%
◆ 中央省庁	5,485	7,046	1,560	128.5%
◆ 地方自治体	9,188	8,244	△944	89.7%
◆ 高速道路会社	1,927	3,253	1,325	168.8%
◆ 電力関連会社	1,207	3,506	2,299	290.5%
◆ 民間その他	2,212	3,711	1,498	167.7%
海外事業	341	198	△142	58.1%
国内・海外事業合計	20,363	25,960	5,597	127.5%

売上高			
2023年6月期 第3四半期 実績	2024年6月期 第3四半期 実績	前期比 増減	前期比 比率
24,195	23,902	△293	98.8%
8,396	7,675	△721	91.4%
9,300	8,354	△946	89.8%
1,971	2,363	392	119.9%
1,243	2,071	828	166.6%
3,282	3,437	154	104.7%
475	273	△201	57.6%
24,670	24,176	△494	98.0%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

構造保全分野 | 富山市と研究協力協定締結



橋梁等の利用状況や、業務の高度化・効率化に関するコンサルティングを実施

富山市と国立大学法人金沢大学及び大日本ダイヤコンサルタント株式会社は、橋梁等の維持管理技術に関する研究協力について2024年1月に協定を締結しました。

大日本ダイヤコンサルタントは主として国立大学法人金沢大学との共同開発であるSIVE*の実験結果やその分析や活用について富山市に情報を報告し、橋梁等の利用状況や、業務の高度化・効率化に関するコンサルティングを実施します。

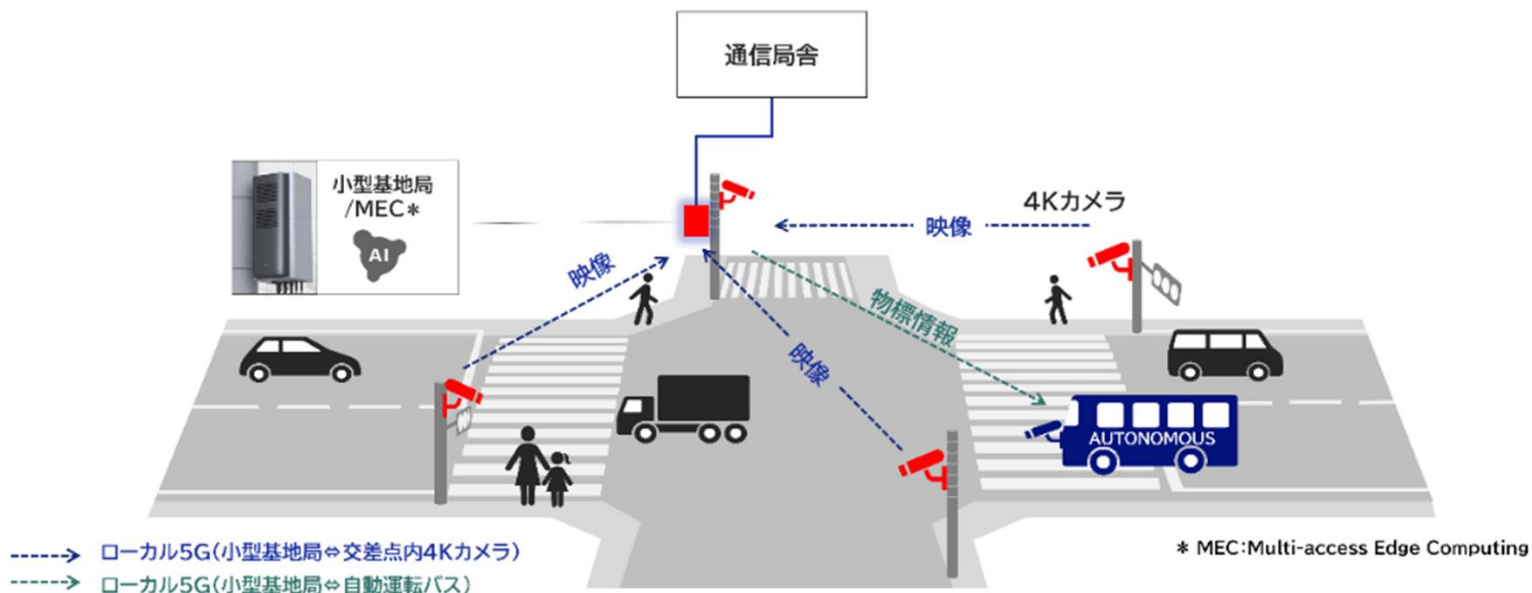
*SIVE：Self-propelled Impact Vibration Equipment
橋梁床版の耐荷性能評価に特化した載荷試験機で、橋上の作業のみで計測作業が完結します。

社会創造分野 | 路車協調システムの実証実験

令和5年度に鳥取市内で実施された自動運転バス試乗体験会と連携した路車協調システム実証実験の支援を行いました。

(目的)

自動運転車と一般車等が混在する環境での安全・円滑な道路交通の実現、無人自動運転移動サービスの早期実現に向け、道路インフラ側に設置したカメラ等によって道路交通状況を検知し、自動運転車や遠隔監視室へ情報提供を行う路車協調システムの技術的検証



◆路車協調システムの基本的な構成

令和5年度実証実験で使用した路車協調システムは、ローカル5Gの活用により、大容量・低遅延・安定的な通信が可能なシステムです。加えて、高解像度な4Kカメラを用いた物体認識AIにより、交差点周辺の自動車、歩行者等の情報をデジタル化し、物標情報として自動運転車両へリアルタイムで情報提供を行いました。



新領域事業分野 | 愛媛県内子町と包括連携協定を締結

内子町・大日本ダイヤコンサルタント株式会社・株式会社武田林業・日創プロニティ株式会社

脱炭素及び持続可能なまちづくりの 実現に向けた包括連携協定締結式



愛媛県内子町と大日本ダイヤコンサルタント株式会社、株式会社武田林業及び日創プロニティ株式会社は、脱炭素の実現と持続的に発展するまちづくりの推進に寄与することを目的として包括連携協定を締結しました。

DNホールディングスグループは、今後も地域資源・地域エネルギーを活かし、脱炭素と地方創生の同時実現に向けて取り組んでまいります。

■本協定の連携事項

- (1) 脱炭素社会の実現に向けた取組に関する事
- (2) 地域資源の活用による地域社会の活性化に関する事
- (3) 地域の防災機能強化などレジリエンスの向上に関する事
- (4) 環境エネルギー教育等を通じた啓発活動に関する事
- (5) その他目的を達成するために必要な事項

写真左から、内子町長 小野 植正 様、大日本ダイヤコンサルタント株式会社 代表取締役社長 原田 政彦、

株式会社武田林業 代表取締役 武田 惇奨 様、日創プロニティ株式会社 専務取締役 大里 和生 様

トピックス | 株式取得（孫会社化） 株式会社ウエルアップ



大日本ダイヤコンサルタント株式会社の事業活動は橋梁設計、地質・地盤の調査・解析にとどまらず、道路やまちづくりに対する調査・計画・設計・監理業務、自然災害に関する防災・減災に関する業務、官民連携による事業促進 PPP や Park-PFI、再生可能エネルギー分野のコンサルタント業務など、その業務領域の拡大にも取り組んでおります。

受注獲得の機会増加が今後見込まれる発注者支援業務や施工管理業務に対し、株式会社ウエルアップが持つ当該業務におけるノウハウとDNホールディングスグループが保有する顧客基盤および高度な技術の双方を活かすことでシナジーを創出し、企業価値向上を図ってまいります。

■会社概要■

- (1) 名称 株式会社ウエルアップ
- (2) 所在地 奈良県奈良市三条大宮町2番21号
- (3) 代表者 代表取締役社長 尾花 弘教
- (4) 事業内容 建設コンサルタント、地域包括事業、地元支援事業、住環境の提案及びデザイン、コンピューターを用いたソフトウェア設計、プログラム開発
- (5) 資本金 50,000千円
- (6) 設立 1997年4月10日

写真上：左から大日本ダイヤコンサルタント
原田社長、ウエルアップ尾花社長

写真左：株式会社ウエルアップHP
(<https://wellup-corp.com/>)



トピックス | 合併により2分野で第1位を獲得

建設コンサルタント会社決算ランキング2024（2023年1月期～12月期）

<分野別売上高ランキング>



8年連続
第1位

根幹となる確かな技術力

鋼構造及びコンクリート



第1位

根幹となる確かな技術力

地質

<売上高ランキング>



第5位

建設コンサルタント部門

※（2023ランキング）大日本コンサルタント[13位]、ダイヤコンサルタント[33位]

（出典）日経コンストラクション 建設コンサルタント決算ランキング
（2017～2024）分野別ランキング、日経BP

※大日本ダイヤコンサルタントの数値は大日本コンサルタントとダイヤ
コンサルタントの2023年6月期決算の合算

第3四半期決算 連結貸借対照表

決算概要

(単位：百万円)

区分	2023年6月期 期末	2024年6月期 第3四半期	前期比 増減	前期比 比率	備考欄
流動資産	14,018	22,289	8,270	159.0%	主な内訳 ・受取手形及び売掛金：3,376百万円 引渡しが完了した受注業務のうち、未入金の金額 ・契約資産：15,888百万円 進捗度に基づく売上高に対する未入金の金額
固定資産	7,006	7,044	37	100.5%	
資産合計	21,025	29,333	8,308	139.5%	
流動負債	6,888	15,336	8,448	222.6%	主な内訳 ・契約負債：1,260百万円 受注業務の引渡し前に入金された金額 (契約資産と相殺表示した後の金額)
固定負債	2,280	1,982	△298	86.9%	
負債合計	9,168	17,319	8,150	188.9%	経営統合に伴う金融機関からの資金調達残高 1年内返済予定：214百万円 1年超：714百万円
純資産	11,856	12,014	157	101.3%	
負債純資産合計	21,025	29,333	8,308	139.5%	

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

財務指標

自己資本比率	56.3%	40.9%	△15.4%	72.6%
1株当たり純資産	1,471円35銭	1,481円67銭	10円32銭	100.7%

第3四半期決算 連結損益計算書

決算概要

(単位：百万円)

区分	2023年6月期 第3四半期	2024年6月期 第3四半期	前期比 増減	前期比 比率	備考欄
売上高	24,670	24,176	△494	98.0%	➤ 収益認識に関する会計基準の適用に伴い、進捗度に基づき売上高を計上
売上総利益	7,502	6,879	△622	91.7%	建設コンサルタント事業 20,293百万円 地質調査事業 3,883百万円
販売費及び一般管理費	5,609	6,358	748	113.3%	➤ 当初より計画していた給与水準の引き上げや社員教育の充実に伴う積極的な人的投資を実施
営業利益	1,892	520	△1,371	27.5%	
経常利益	1,944	543	△1,401	28.0%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,404	535	△869	38.1%	

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

財務指標

自己資本当期純利益率	13.5%	4.5%	△9.0%	33.2%
総資産経常利益率	8.4%	2.2%	△6.2%	25.8%

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）

ポイント

(研究開発費)

- 新たな成長ステージとサステナビリティ社会の実現に向けて、研究開発費予算を増加
- 防災・減災分野をはじめとする、事業会社の合併に伴うシナジー効果発現に向けた研究開発の実施

(設備投資)

- テレワークを活用したオフィス環境の整備
- DXによる生産性向上

発生状況

(単位：百万円)

区分	2023年6月期 3Q	2024年6月期 3Q	前年同期比		通期計画	進捗率
	実績	実績	増減	比率		
研究開発費	119	123	3	103.1%	250	49.4%
設備投資	418	225	△192	53.9%	724	31.2%
減価償却費	330	297	△33	90.0%	441	67.3%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

主な実施事項

- 生成AIのサービス導入による業務効率化、その他AI活用スキルの向上
- 関東支社におけるフリーアドレス化の実施

2024年6月期 業績見通し

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
通期計画	34,500	2,400	2,450	1,700

2024年6月期連結営業利益計画（詳細）

(単位)百万円	2023年 6月期 (実績)	2024年 6月期 (計画)	増減
売上高	32,580	34,500	1,920
原価・販管費	30,389	32,100	1,711
営業利益	2,191	2,400	209

【計画の前提】

- 売上拡大**
 経営資源の相互活用によるシナジー効果の創出
 脱炭素事業（風力・バイオマス・原子力発電関連業務）、
 自衛隊施設関連業務を見込んだ売上高の増加
- 売上原価・販売管理費の増加（人的投資）**
 売上高増加に伴う変動費増に加え、
 従業員に対する給与水準の引上げ、事業拡大に伴う人員
 増、福利厚生、教育訓練の充実、設備増強
- 事業拡大に向けた投資費用**
 インフラマネジメント手法の確立
 i-Construction BIM/CIM 生成AI技術等の研究開発
 研究開発成果の事業化 DX促進

2024年6月期 配当予想

配当予想

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末
通期計画	—	—	—	65円

配当方針

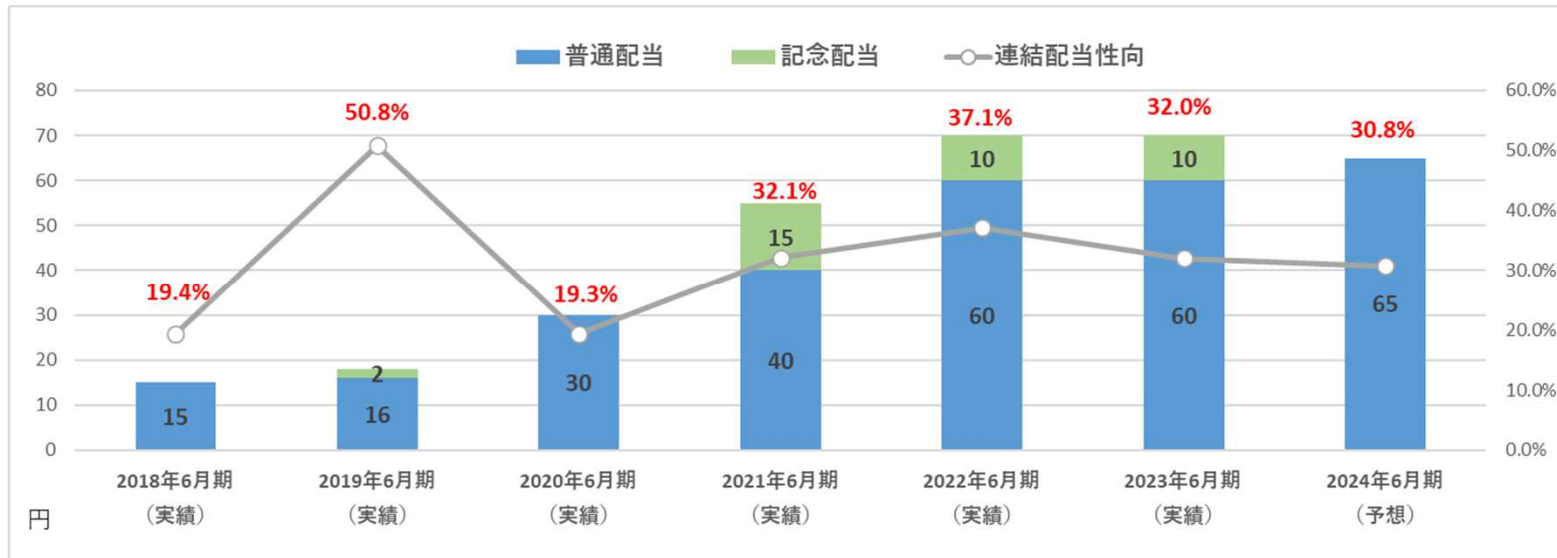
■ 長期にわたる安定的な経営基盤の確保と自己資本利益率の向上に努めるとともに、株主の皆様に対する安定的な配当の継続を基本とします。

■ 連結配当性向30%以上を当面のターゲットとして、株主の皆様への安定的な配当の継続に努めます。また、市場環境や資本効率の状況などによって、自己株式の取得についても適宜実施する可能性があります。

■ 内部留保資金は、将来の事業展開を見据え、持続的成長に向けた戦略的投資、財務レバレッジの向上と財務健全性の確保、持続的・安定的な株主還元の項目にバランスを取りながら効果的に活用することで企業価値の向上を目指します。また、自己株式の取得は、機動的な資本政策の遂行を可能とすることなどを目的として、その必要性、財務状況、株価水準等を勘案して適宜実施します。

参 考

1株当たり配当金



当社は2021年7月14日付でテクニカル上場により東京証券取引所に新規上場したため、2021年6月期迄の実績値は、参考として大日本コンサルタント株式会社の配当金実績を示しています。

2024年6月期の連結配当性向は、2023年8月10日に公表いたしました通期業績予想に基づき算定しています。

統合報告書2023発行のお知らせ



DNホールディングス株式会社は、『統合報告書2023』を発行しています。

企業理念「大地と空間、人と社会の可能性を引き出し、未来を拓く」のもと、サステナビリティ経営により、どのような方向を目指していくのか。SDGsへの貢献だけでなく、社会課題を解決することによって自らの持続的な成長、企業価値の向上を実現するための基盤と戦略を、財務・非財務の両面から説明しています。

『統合報告書2023』の概要

- DNホールディングスについて：企業理念、価値観、ビジョン | あゆみ | 財務・非財務ハイライト
- 目指す未来（ビジョン）：トップメッセージ | 価値創造プロセス | 中期経営計画2026
- 成長戦略：大日本ダイヤコンサルタント始動 | 分野別事業紹介 | 研究開発
- サステナビリティ経営：DNホールディングスのサステナビリティへの考え方
- データセクション：財務・企業情報

IRメールマガジン

投資家及び株主をはじめとするさまざまなステークホルダーの皆様に、当社をより一層ご理解・ご関心いただけるよう、最新のIR情報をタイムリーにお知らせします。

配信をご希望の方は、下記配信登録フォームより登録をお願いします。

URL：<https://www.dcne.co.jp/IR/mailmagazine>



メールアドレスをご登録いただいた皆様に対して、以下の情報をメール配信いたします。

- ・TDnet、EDINETを通じて公表した決算短信、有価証券報告書、適時開示等の情報
- ・コーポレートサイトに掲載したニュースリリース等の情報
- ・コーポレートサイトの一部新設、更新等の情報
- ・その他、皆様へお知らせすべき情報

会社概要

名称	DNホールディングス株式会社	
英文名	DN HOLDINGS CO., LTD.	
所在地	東京都千代田区神田練塀町300番地	
設立日	2021年7月14日	
資本金	20億円	
事業内容	建設コンサルタント事業及び地質調査事業等を営む子会社等の経営管理 及びこれらに附帯又は関連する一切の事業	
取締役	代表取締役社長執行役員	新井 伸博
	代表取締役副社長執行役員	野口 泰彦
	取締役副社長執行役員	楠本 良徳
	取締役（監査等委員（常勤））	吉村 実義
	取締役（監査等委員（非常勤））	林田 和久
	取締役（監査等委員（非常勤））	井上 毅

DNホールディングスグループ会社の概要

商号	本店所在地	設立年月	資本金	出資比率	決算期	事業内容
大日本ダイヤコンサルタント株式会社	東京都千代田区	1963年1月	13億99百万円	100%	6月30日	建設コンサルタント 地質調査
NEテクノ株式会社	埼玉県さいたま市	2009年10月	20百万円	100%	6月30日	建設コンサルタント
Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd.	ベトナム国 ホーチミン市	1996年11月	300 (Thousands of U.S. dollars)	100%	6月30日	CAD設計
有限会社エーシーイー試錐工業	北海道札幌市	1990年6月	3百万円	100%	5月31日	各種調査ボーリング
株式会社ウエルアップ	奈良県奈良市	1997年4月	50百万円	100%	3月31日	建設コンサルタント 地域包括事業 地元支援事業
合同会社ふじおやまパワーエナジー	静岡県駿東郡小山町	2018年8月	10百万円	80%	3月31日	エネルギーサービス
株式会社清流パワーエナジー	岐阜県岐阜市	2015年11月	60百万円	50%	3月31日	エネルギーサービス



※2024年4月1日付けで、株式会社ウエルアップがグループ会社に加わりました。

株式状況（2023年12月31日現在）

株式状況

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式総数	8,420,000株

大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	比率（%）
光通信株式会社	580	7.17
D Nホールディングス社員持株会	487	6.02
D Nホールディングス社友持株会	417	5.16
ダイヤコンサルタント職員持株会	358	4.43
株式会社北陸銀行	325	4.02
株式会社U H Partners 2	294	3.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	274	3.38
古河機械金属株式会社	190	2.35
株式会社三菱UFJ銀行	189	2.34
川田テクノシステム株式会社	172	2.13

注1 比率は、発行済株式（自己株式を除く。）の総数に対する持株数の割合を示しています。

注2 大株主の表には、当社が所有する自己株式322千株は除外しています。

注3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数のうち、信託業務に係る株式数は274千株です。なお、その内訳は、信託口137千株、退職給付信託口137千株です。

注4 2024年3月1日付けで、当社の株主であるD Nホールディングス社員持株会と当社の株主であるダイヤコンサルタント職員持株会が統合されたことに伴い、D Nホールディングス社員持株会が主要株主である筆頭株主となっております。

株主メモ

お問い合わせ窓口

DNホールディングス株式会社 経営企画本部
電話番号：03-6675-7002（代表）
e-mail：info@dcne.co.jp

IR年間スケジュール



ホームページのご案内

企業情報、事業概要、IR情報などを公開しております。

<https://www.dcne.co.jp/>



注意事項

- 本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 将来における当社グループの業績が、現在の当社グループの将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- 業界等における記述につきましては、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。



DNホールディングス株式会社

人と自然が微笑む社会へ

